

出生数、死亡数、婚姻・離婚件数等の前年比較（全国）

	実 数			率 1)		平均発生間隔	
	平成18年	平成17年	対前年増減	平成18年	平成17年	平成18年	平成17年
出 生	1,092,674	1,062,530	30,144	8.7	8.4	分 秒	分 秒
男	560,439	545,032	15,407	9.1	8.8	29"	30"
女	532,235	517,498	14,737	8.2	8.0	56"	58"
死 亡	1,084,450	1,083,796	654	8.6	8.6	59"	1' 1"
男	581,370	584,970	-3,600	9.4	9.5	29"	29"
女	503,080	498,826	4,254	7.8	7.7	54"	54"
(再掲) 乳児死亡	2,864	2,958	-94	2.6	2.8	1' 3"	1' 3"
新生児死亡	1,444	1,510	-66	1.3	1.4	183' 31"	177' 41"
自然増加	8,224	-21,266	29,490	0.1	-0.2	363' 59"	348' 5"
死 産	30,911	31,818	-907	27.5	29.1
自然死産	13,424	13,502	-78	11.9	12.3	17' 0"	16' 31"
人工死産	17,487	18,316	-829	15.6	16.7	39' 9"	38' 56"
周産期死亡	5,100	5,149	-49	4.7	4.8	30' 3"	28' 42"
妊娠満22週以後の死産	4,047	4,058	-11	3.7	3.8	103' 4"	102' 5"
早期新生児死亡	1,053	1,091	-38	1.0	1.0	129' 52"	129' 31"
婚 姻	730,971	714,265	16,706	5.8	5.7	499' 9"	481' 46"
離 婚	257,475	261,917	-4,442	2.04	2.08	43"	44"
						2' 2"	2' 0"

	平成18年	平成17年
合計特殊出生率2)	1.32	1.26
年齢調整死亡率3) 男	5.7	5.9
女	2.9	3.0

- 注1) 出生・死亡・自然増加・婚姻・離婚率は人口千対、乳児・新生児・早期新生児死亡率は出生千対、死産率は出産（出生＋死産）千対、周産期死亡率・妊娠満22週以後の死産率は出産（出生＋妊娠満22週以後の死産）千対である。
- 2) 合計特殊出生率とは、15歳から49歳までの女子の年齢別出生率を合計したもので、1人の女子が仮にその年次の年齢別出生率で一生涯の間に生むとしたときの子ども数に相当する。
- 3) 年齢調整死亡率（人口千対）は、人口構成の異なる集団間での死亡率を比較するために、年齢階級別死亡率を一定の基準人口（昭和60年モデル人口）にあてはめて算出した指標である。